

〔江東特産園芸作物における導入，育成品種の維持，特性調査〕
5月まきアフリカンマリーゴールド品種のポット栽培と花壇定植後の生育・開花

田旗裕也
(江戸川分場)

【要 約】 5月まきアフリカンマリーゴールドは，主茎頂未開花が少なく，各品種とも発蕾から蕾着色に10～14日，蕾着色から開花までに約1週間を要する。開花が早かったのは‘アンティグア’シリーズである。花梗径が太い‘アンティグア イエロー，ST-165’は，花首折れが少なく，定植後の開花量が多い有望品種である。

【目 的】

アフリカンマリーゴールドの5月まきポット栽培における開花時期と出荷時草姿等の品種特性を明らかにし，花壇定植後の生育・開花状況を加味して有望品種を選定する。

【方 法】

‘ST-165’ほか15品種を供試した。2003年5月15日に市販PeatLiteMix単用用土で，128穴セルトレイへ1穴1粒播きし，播種後18日目の6月2～3日に10.5cmポットへ1本定植した。定植用土は，蒸気消毒済みの，赤土（5kg/m³の過磷酸石灰を添加）：腐葉土：無調整ピートモスの6：2：2（v/v）混合用土とした。6月17日に屋外圃場へ搬出し，7月1日にポットの間隔を約20cmに広げた。発蕾後の開花状況と開花始期の生育を調査し，8月8日に屋外圃場の花壇へ株間20cmで定植した。花壇定植後7週目（9月24日）と11週目（10月24日）に，生育調査を行った。

【成果の概要】

- 1) 7～8月まきのフレンチマリーゴールドは，主茎頂未開花になる傾向が強い（H12速報）が，供試したアフリカンマリーゴールドは各品種とも未開花の発生が少なく，主茎頂に着蕾する性質が強かった。発蕾が早かったのは‘ゴールデンジュビリー，アンティグア’シリーズで，‘エローレディー’は遅かった。各品種とも，発蕾10～14日後に蕾着色が始まり，蕾着色から5～7日後に開花した。側枝開花は，主茎頂花開花後の5日以内に始まり，特に‘イカオレンジ，F1パニラ，オレンジレディー’は，主茎頂花開花始とほぼ同時に側枝開花が始まった。なお，種苗会社が異なる同一品種間には，開花時期の差はなかった（表1）。
- 2) 花梗が太かったのは‘アンティグアイエロー’で，次いで‘ST-165，SOK-71’だった。‘イカオレンジ’は花梗が細く，8月に接近した台風に伴う強風のため，花首折れが多発した。発蕾時の草丈から品種分類すると，60cm以上で高性の‘ゴールデンジュビリー’，40～50cmで中性の‘SOK-71，F1パニラ，’及び‘イカ，パーフェクション，レディー’シリーズ，そして35cm以下でわい性の‘ST-165’と‘アンティグア’シリーズに分けられた（図1）。
- 3) 花壇定植後，7週後までは各品種とも高い観賞性を示した。‘F1パニラ，F1アンティグアイエロー，エローレディー’は，定植後7週目の開花数が，特に増加した（図2）。
- 4) 以上の結果，わい性で花梗が太く花首折れが少ない‘ST-165’と，わい性で花壇定植後に開花数が顕著に増加する‘アンティグアイエロー’が有望である。

表1 アフリカンマリーゴールド品種の主茎・側枝の開花特性^{a)} (5月15日まき)

: 品種名(種苗会社) ^{b)}	主茎頂着花蕾 ^{c)}				側枝着花蕾		花色 ^{d)} JISカラーチャート	評価
	未開花株数	発蕾日	蕾着色日	開花始日	開花始	開花始		
①:ST-165(SYN)	0	7月11日(0.7)	7月23日(0.6)	7月31日(0.9)	8月2日(1.0)	1306	鮮橙	◎
②:SOK-71(SYN)	3	7月10日(0.8)	7月21日(0.3)	7月27日(0.6)	7月31日(0.8)	2706	鮮緑黄	
③:アンティグア コールト [*] (M)	2	7月9日(0.6)	7月19日(0.8)	7月26日(0.7)	7月29日(1.2)	2205	鮮橙黄	
④:アンティグア オレンジ [*] (M)	0	7月7日(1.1)	7月16日(0.9)	7月22日(1.0)	7月25日(0.5)	1605	鮮橙	
⑤:インカ コールト [*] (M)	2	7月11日(0.8)	7月26日(0.5)	7月31日(0.4)	8月5日(1.1)	1906	鮮黄橙	
⑥:インカ オレンジ [*] (M)	1	7月9日(0.7)	7月21日(0.5)	7月28日(0.9)	7月29日(0.9)	1605	鮮橙	
⑦:F1ハニラ(TT)	0	7月10日(0.7)	7月25日(0.6)	7月31日(0.7)	8月1日(0.5)	2702	淡緑黄	
⑧:レディ ミックス(TT)	0	7月12日(0.7)	7月24日(1.1)	7月31日(1.3)	8月1日(1.2)			
⑨:F1アンティグア コールト [*] (TK)	0	7月9日(0.6)	7月18日(0.8)	7月25日(0.6)	7月27日(1.0)	2205	鮮橙黄	
⑩:F1アンティグア イエロー(TK)	0	7月9日(0.6)	7月17日(0.9)	7月23日(1.3)	7月26日(0.7)	2705	明緑黄	◎
⑪:F1アンティグア オレンジ [*] (TK)	0	7月7日(1.2)	7月16日(0.7)	7月22日(0.9)	7月25日(0.8)	1605	鮮橙	
⑫:ハーフエクシオン コールト [*] (S)	1	7月11日(0.7)	7月24日(0.8)	7月31日(1.1)	8月2日(0.9)			
⑬:ハーフエクシオン イエロー(S)	1	7月12日(0.5)	7月25日(0.8)	8月1日(1.1)	8月3日(1.2)			
⑭:コールテン シュベリ [*] (F)	0	7月6日(0.6)	7月17日(0.9)	7月22日(1.0)	7月28日(1.1)	2205	鮮橙黄	
⑮:イエロー レディ [*] (F)	0	7月13日(0.3)	7月28日(0.7)	8月1日(0.5)	8月4日(0.9)	2704	明緑黄	
⑯:オレンジ レディ [*] (F)	0	7月12日(0.7)	7月25日(0.8)	7月31日(1.1)	8月1日(1.1)	1605	鮮橙	

a) 播種日: 2003年5月15日, 10.5cmポット1本植栽培。 調査株数(n)=48。

b) 品種名に付した()は, 販売商社を表す。 SYN=シンジエンタシード(株), M=(株)ミヨシ, TT=タキイ(株), TK=(株)東京花壇, S=(株)サカタのタネ, F=福花園種苗(株)

c) ()内の数値は95%信頼区間。

d) 日本園芸植物標準色表に準拠。

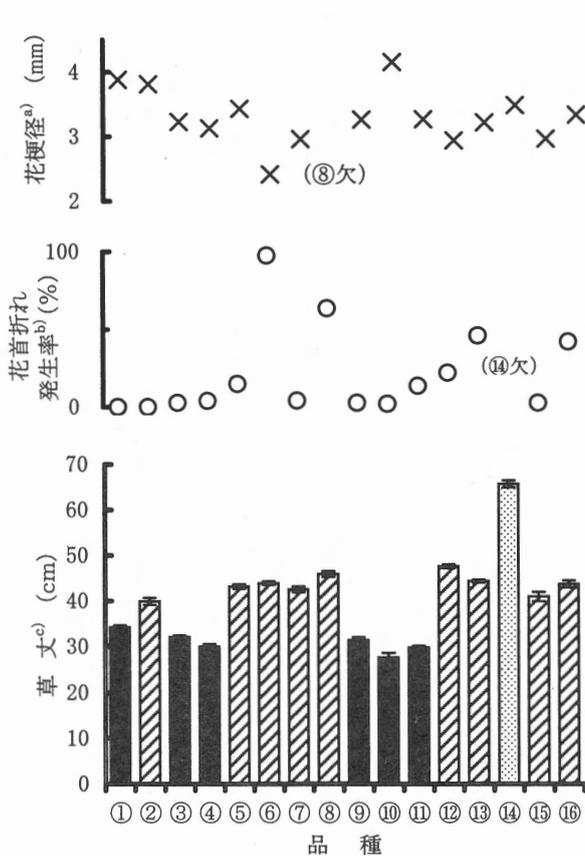


図1 主茎頂花開花時の花梗径と台風10号接近に伴う花首折れの発生率, ならびに発蕾時の草丈

a) 花梗径: 主茎止葉部の茎径, 8月4日計測 (n=20)

b) 花首折れ発生率:

主茎頂花の花梗折れ個体数/調査株数(=74)×100
8月11日計測(台風遭遇の翌日)。

c) 草丈: 7月24日計測 (n=48),

図中の上下線は95%信頼区間を表す。

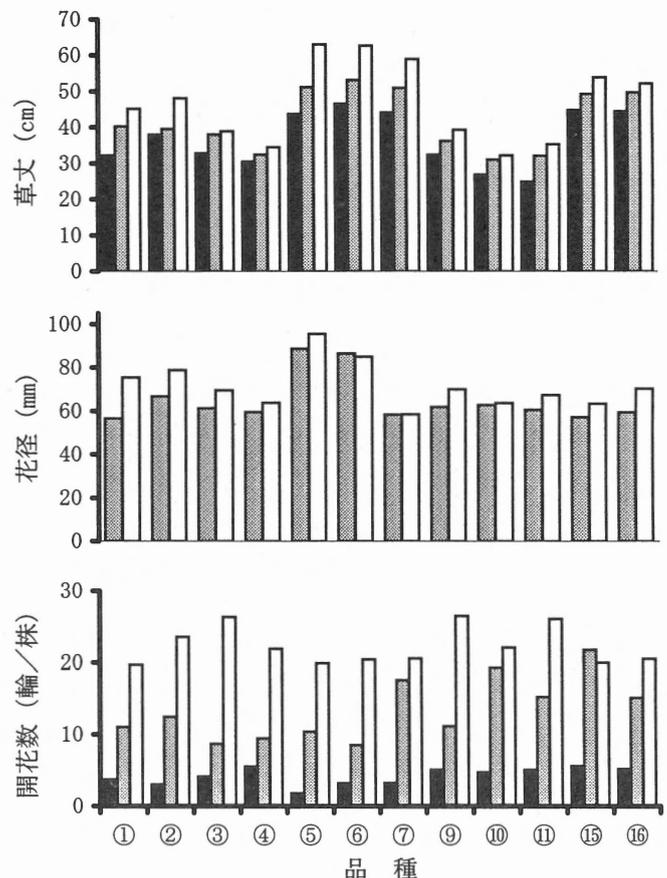


図2 花壇定植後の草丈, 花径, 開花数の変化
注) 2003年8月4日定植, 分場内屋外面場。